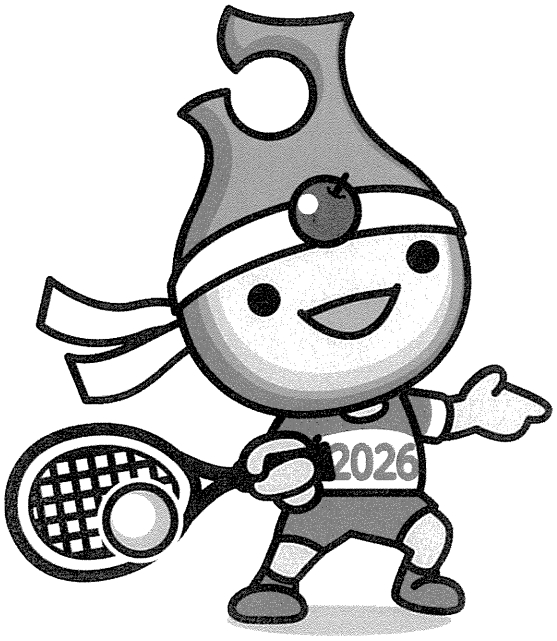
④

# 《青の煌めきあおもり国スポ》

# 審判員マニュアル

## 監督選手誘導・審判注意事項編　ver. 1.4




アップリート君

■期　　日　：　令和８年１０月１６日（金）～１９日（月）

■会　　場　：　青森市・新青森県総合運動公園テニスコート

青森県ソフトテニス連盟

# 審判員マニュアル　目次

## 「監督・選手誘導・審判注意事項編」


| | 頁 |
|---|---|
| 1 監督・選手誘導要領(全対戦) | 1～4 |
| 2 コート主任の役割のリハ大会からの変更 | 5 |
| 3 審判にあたる際の注意事項 | 6～7 |
| 4 チーム誘導イメージ | |
| 入場の場合 | 8 |
| 退場の場合 | 9 |
| 5 会場図 | 10 |
| 6 Nコート「監督選手集合所」予定地 | 11 |
| 7 「得点板」表示要領 | 12 |
| 8 審判員指摘事項票 | 13 |

# 監督・選手誘導要領（全対戦）

## 1　集　合

（１）集合場所(4ケ所設置)
アンパイヤーは、対戦用スコアシート等を、上屋「ボール管理」テントで受取った後、予め決められた監督・選手集合場所に移動する。

（２）集合時間
アンパイヤーは、監督・プレーヤーの集合時間前に監督・選手集合場所で待機する。

（３）大会使用球の決定
「アカエム」、「ケンコー」、「ダンロップ」の選択制となっているため、両チームで希望球が異なる場合は、監督・選手集合場所において、監督がジャンケンで決める。

（４）ベンチの確認
審判台を背にして、県番号の小さい方を左側とする。

## 2　チームの入場

（１）チームは、アンパイヤーの誘導に従い、監督選手集合場所から進行予定表で予め決められたコートへ移動する。【チーム誘導イメージ図参照】
（２）入場は、アンパイヤー、監督、プレーヤーの順とする。入場口より遠い県が先に入る

## 3　チームの退場

（１）チームは、アンパイヤーの誘導に従い、使用コートの階段を上り、通路まで移動する。
（２）通路まで移動したら、監督及びプレーヤーと「あいさつ」を交わし、解散する。
（３）勝者チームには、次対戦用の「オーダー票」を手渡す。
（４）コート最終戦の場合は、勝者チームに「オーダー票」と翌日の「監督・選手到着票」を手渡す。

## 4　チームの出場から退場までの流れ

### (1) 入場前

①　あいさつ
「△△県と□□県の試合のアンパイヤーを努めます正審の○○です。副審の○○です（線審の○○です）よろしくお願いします。」

②　ベンチの確認
「ベンチはチーム番号の小さい△△県が審判台を背にして左側となります。番号の大きい□□県は審判台を背にして右側になります。」

③　ボールの決定
両チームで一致の場合　　「使用球は「アカエム」(「ケンコー･ダンロップ」)です。」
希望球がチームで異なる場合「希望球が異なりますので監督さんのジャンケンで、使用球を決定します。」「それでは、お願いします。」
「△△チームが勝ちましたので、使用球はダンロップ（ケンコー・アカエム）に決定します。」

④　オーダーの確認
「オーダーの確認を行います。監督を先頭にして、オーダー順にお並びください。」
※監督の確認及びプレーヤーのゼッケンを確認する
「△△県１番○○･○○ペア、２番○○･○○ペア、3番○○･○○ペア
□□県１番○○･○○ペア、２番○○･○○ペア、3番○○･○○ペア」

⑤　誘導経路と整列・挨拶方法の説明
「入場口から遠い県を正審が誘導し、入場口に近い県を副審が誘導します。」

整列は、監督が審判台側のサービスサイドラインの仮想延長線上に、最後尾が反対側のサービスサイドラインの仮想延長線上に来るようにベースラインの外側にバランス良くお並びください。
各マッチの場合は、双方のペアがサービスライン外側でサービスセンターラインを中心に横一列にお並びください。集合して、正審の挨拶のコールがありましたら、チーム同士の挨拶の後にアンパイヤーに1回挨拶してください。

⑥ 警告等に対する協力要請
「マッチはルールブックに則り行いますので、警告に値することのないよう、また、マッチ進行にもご協力をお願いします。」

**(2) チームの誘導**

① アンパイヤーは、監督・プレーヤーを監督・選手集合場所から誘導経路のとおりコートに誘導する。正審は採点板、副審はボール等備品の入ったかごを持つ。

② 誘導経路は、あらかじめ監督・プレーヤーに説明しておくこと。
※コート主任は、コート主任席で待機する。

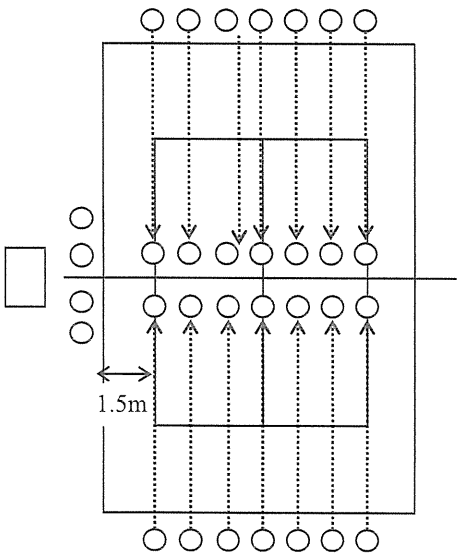
③ 入退場による移動は、正審・(線審１人)・入退場口から遠い県の監督・プレーヤー、副審・(線審１人)・入退場口に近い県の監督・プレーヤーの順で、縦一列で行う。

④ ベースラインまでの誘導　【チーム誘導イメージ図参照】
※正審・副審それぞれが担当するチームを誘導する。
審判台方向に向かって、ベースライン上に到達するようそれぞれ移動する。
「荷物をベンチにおいて、再度整列をお願いします。」

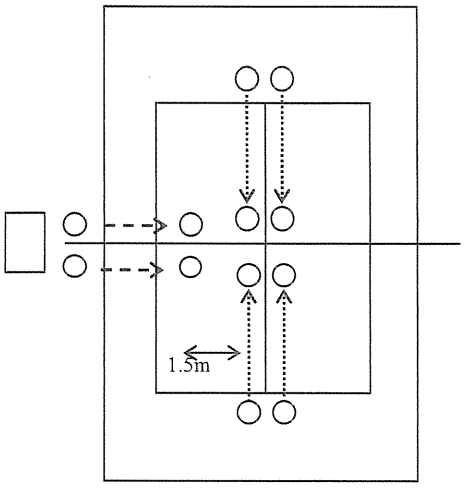
⑤ 正審・副審は、審判台の方向に移動し、ネットポストをはさんでコートの方に向かい静止し、サイドライン外側で各チームが並ぶのを待つ。正審は審判台を背にして左側、副審が右側、線審はそのベースライン側に一人ずつ別れて立つ。

⑥ 集合とあいさつ
両チームが準備できたら、正審が「集合」とコールする。
※コールするとともに手で合図もする。アンパイヤーの位置はそのまま待機。
「あいさつ」　チーム同士の挨拶の後、アンパイヤーと１回行う。
「ただいまから、△△県対□□県の試合を始めます。」
「第１マッチのプレーヤーは準備を、他のプレーヤーは解散してください。」

チーム同士の挨拶




各マッチの挨拶



⑦　各マッチでは、プレーヤーが準備している間にアンパイヤーは、ネットの張り具合、ボールの弾み及び審判台とネットポストまでの位置を確認する。

### (3) マッチの開始

①　アンパイヤーはサイドラインの外側に立ち、プレーヤーはサービスセンターラインを中心にサービスラインの外側に整列させる。

②　「集合」正審はその場でコールするとともに手で合図もする。
プレーヤーがネットに近づいて来たらアンパイヤーも手前サービスコートの中央（プレーヤーと１，５m位）まで前進する。

③　「あいさつ」全体の挨拶と同様に行う。

④　「ただ今より、△△県○○･○○ペア対□□県○○･○○ペアの試合を行います。」

⑤　副審は、「それではコイントスを行います。」
※　要領は、副審がコインのＡ・Ｂ両面をプレーヤーに確認させ、その場で指ではじく等して　コインをコートに落とす。コインのＡ面が出たら副審から見て右側のプレーヤーがトスの勝者となり先取権を得る。Ｂ面が出た場合は、副審から見て左側のプレーヤーがトスの勝者となり先取権を得る。トスの勝者（先取権を得た者）は「サービスあるいはレシーブのいずれかを選ぶか、またはサイドを選ぶ。
そして、もう一方のプレーヤーは、先取権を得たプレーヤーが選択しなかったものの選択権を得る。
コイントスの勝者がサービスまたはレシーブを選択した場合は、トスの敗者にサイドをどうするか確認する。正審はスコアシートにそれぞれのペア欄のＳ・Ｒに○印をつけるとともにサイドを選んだペア欄の「サイド」に○印を付ける。
なお、選択後の変更は認めない。
トスが終了したら副審はコインをボールかごに戻し所定の位置につく。

⑥　サービス(レシーブ)とサイドが決まったら、プレーヤーは、マッチ開始前の練習を行いアンパイヤーは、所定の位置に着く。副審、線審は練習開始の態勢に入るプレーヤーの後ろを駆け足で定位置に移動する。正審は速やかに審判台に上がり各プレーヤーの特徴などを確認しておく。また、スコアボード(得点板)の表示が正しいかを確認する
練習時間は、トス終了後１分以内とする。
※コート主任の手の合図（トス終了後45秒）を確認した後

⑦「レディ」練習をやめさせ、速やかにマッチに入る。（レッツプレー）
「サービスサイド、△△県○○･○○ペア、レシーブサイド、□□県○○･○○ペア。プレーボール。」
※プレーヤー、アンパイヤーが挨拶することが多いが、すでに挨拶は行われているので、この時はしない。

### (4) マッチ終了

「ゲームセット」
※正審は、最後のポイントの後、プレーヤーを待たせず、直ちに審判台を降りる。
副審はボールを回収し、線審もマッチ開始前のあいさつと同位置に並ぶ。　最後のポイントの記入等、スコアシートの整理をする時間がない場合は、あいさつ終了後に行う。
「ただいまの試合は、◇対◇で□□県○○･○○ペアの勝ちです。」
「あいさつ」（ご苦労様でした。）
※正審はスコアシートの整理を行う。
※すべての対戦終了時には、あいさつの後、「監督・プレーヤーは、ベースラインに整列してください。」と言う。

**(5) 対戦終了と退場**
**※対戦は各チームが２対戦以降の場合は、２点先取で試合は終了する。（２面展開も同様）**

① チーム同士の対戦が終了したら、アンパイヤーは最初に県同士のあいさつをした時と同様にネットポストをはさんでサイドラインの外側でコートの方に向いて立ち、各チームが並ぶのを待つ。

② 正審は「集合」とコールするとともに手で合図もする。アンパイヤーはそのままの位置でよい。

③ 勝敗の宣告とあいさつ
「ただいまの対戦は、◇対◇で□□県の勝ちです。」
「あいさつ」（ご苦労様でした。）
「□□（勝者）県の監督さん、勝者サインをお願いします。」スコアシートにサインをもらう。
「それでは、各県の皆さんは荷物を持って、入場した時と同様にベースラインの外側にお並びください。」

④ 退場の誘導　【チーム入退場誘導イメージ図参照】
※アンパイヤーもベースラインに移動し、所定の位置でチームが並ぶのを待つ。
両チームの準備ができたのを確認して
「それでは退場します。私についてきてください。」
正審・副審それぞれ担当するチームを解散場所まで移動する。

**(6) 退場後の解散（もとのチーム集合場所に戻ったら）**
（正審）　「お疲れさまでした。」
次の対戦の「オーダー票」を、勝者県の監督に渡す。
「対戦相手が決まり次第、次対戦のオーダー票をオーダー受付に提出ください」
（進行係から選手団への伝達依頼事項がある場合は、その内容を伝える）

正審が「ご協力ありがとうございました。解散します。」とあいさつし解散する。

**(7) 解散後の諸手続き**
① スコアシート(正本)、採点板、筆記用具、イエローカード、ボール、空気入れ等を上屋「ボール管理」係に返却する。

**(8) 対戦終了後のコート主任が記載した「スコアシート」の扱い**
① コート主任が記載した「スコアシート(副本)」は、コート主任補助員に依頼し、「進行本部」に届ける。
② 進行係は、各コート単位にコート主任が記載した「スコアシート」を副本として「進行本部」に保管する。
③ 正審が記載した「スコアシート」(正本)は、「ボール管理」テントに届くので、「ボール管理」係が内容を確認し、不足事項があればその場で記載を促し、不足がなければ「進行本部」に持参する。
④ 「進行本部」で受領した「スコアシート」(正本)は、進行補助員に依頼し直ちに「こもれび広場」に設置されているコンテナハウス内の「競技本部」に配送する。

## 「コート主任」の役割のリハ大会からの変更

1．リハ大会と異なり「コート主任」は、決められたコートの本部席側に配置し基本的に動かない。
（1）N5・6コート、S5・6の10/16(金)1試合目は、本部席の反対側に位置する。（本部席側に観客席がないため）
（2）基本同一コートを終日担当するため（頻繁に交代することによる業務の停滞を避けるため同一人同一コートを基本として配置する）コート主任補助員を配置し、２名体制とする。
（3）10/16・17の補助者は高校生とし、10/18・19は一般の者を配置する。
（4）コート主任は、その都度担当者を変えると不都合が生じるおそれがあるため、一日中割り当てられたコート担当する（そのため、補助者を配置し、昼食、トイレ、給水等に対応することを可能にする）

2．コート主任の役割
（1）試合前：
① 担当するコートに待機し、選手誘導してきた副審から控用の「スコアシート」（副本）を受け取り、コート主任席に着座する。
② コート主任が保管している「県名表示プレート」を得点板にセットする。(この場合、組合せ番号の小さい県を上段にセットする)
（2）試合中：
① スコアシートの記載
② チェンジサイズとタイムの時間計測をストップウォッチを利用して行い、時間がきたら「右手」を正審に向け高くあげ、時間がきたことを「サイン」で知らせる。（ブザーは使用しない）
③ 「審判指摘事項」（別紙様式）に、マッチ中の質問の状況や、アンパイヤーの改善すべき事項等を記載する。
（3）対戦終了後：
① 記載した「スコアシート」（副本）と「審判指摘事項」を一緒に、コート主任補助員に依頼して、上屋「進行本部」に届ける。
② 得点板補助員に対して、コート整備を依頼する。（1人しかいない）
③ 「県名表示プレート」を得点板から外し、コート主任席で管理する。
④ 次対戦の「県名表示プレート」を進行表で確認し、得点板に掲示する。
⑤ 得点板備品の不足がないか確認する。

3．コート主任用「かご」の内容と準備すべきもの
・採点板
・筆記用具
・予備ボール（３種）
・ストップウォッチ
・オーダー用紙
・監督・選手到着票
・スコアシート（白紙）
・審判指摘事項（様式）
・雨用ビニール
・「かご」全体を降雨から守るビニール袋

審判にあたる際の注意事項

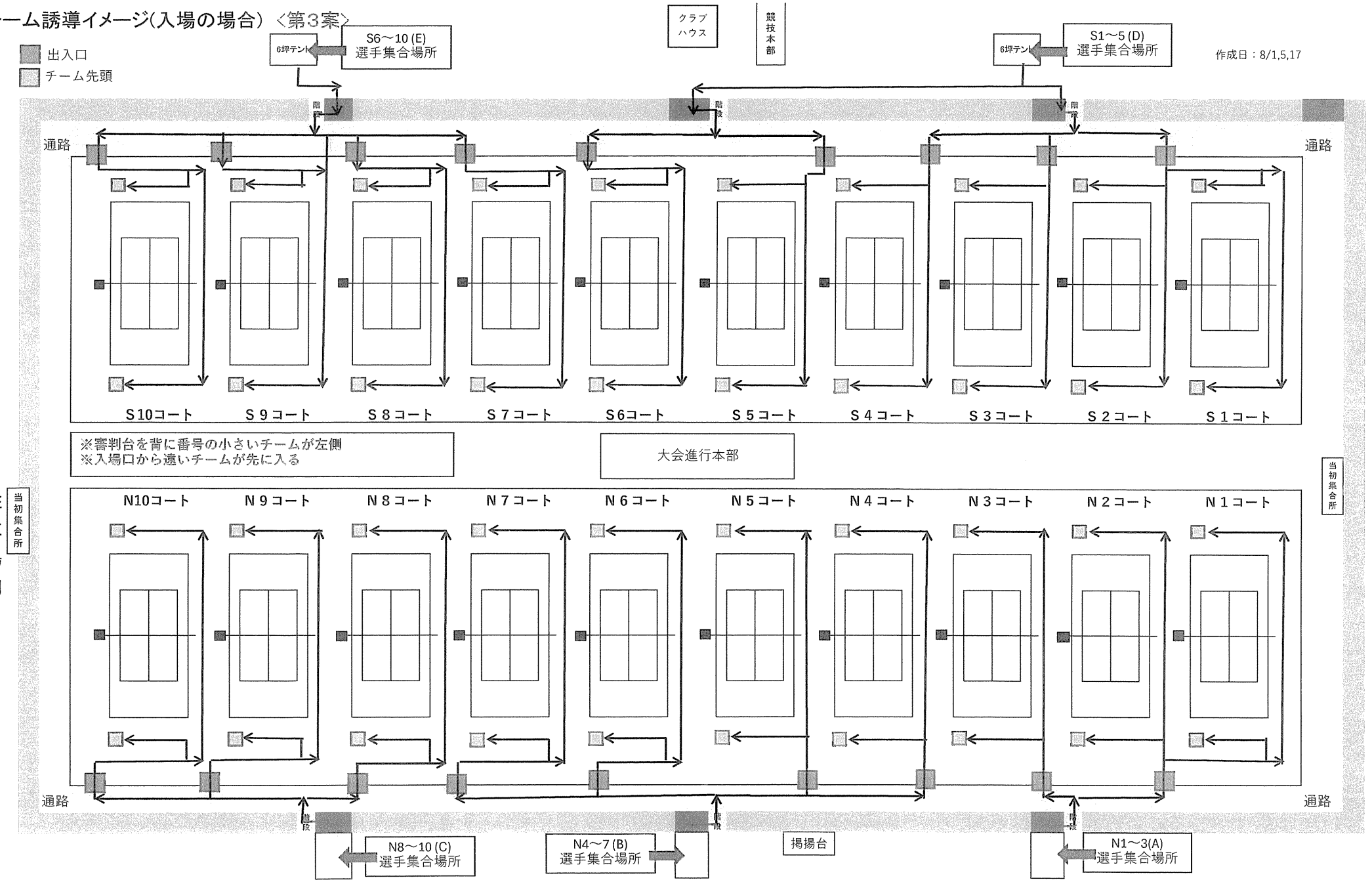
1 選手が練習する際の服装は、マッチが行える服装である事を挨拶時に伝える。
（「レディ」のコール後にベンチに戻らないようにするため）
2 フットフォールトは最初から必ずとる。（線審は、よく見て、踏んだら大きな声で遠慮なく、コールと指さし）
3 副審は、ネットにかかったフォールトのサインはしない。
4 疑わしきはインでプレーを継続させる。（但し、ボールの落下点は明確にしておく）
注意・・・インでプレーを継続した、もしくはアウトでプレーを止めた後に、痕跡の確認をして痕跡が無い場合は最初の判定を絶対に覆さない事
5 痕跡の確認は、選手から質問があった場合に限り行い、際どいボールだからと言って自ら確認しに行くことはしない。
（原則、確認は副審が行うが、正審が行っても良い）
（正審が副審を呼び、落下点が分かっているか確認し、分からない場合は正審が確認する）
・痕跡を確認する場合、選手や監督は近づけない
・痕跡を確認する時は絶対に痕跡の指さしをしない。ラインをまたがって痕跡を確認すること。
・正審もしくは副審がアウトｏｒインを確認後、痕跡を消して、正審が審判台上で判定をコールする。
・痕跡が残らないプレーの質問には特に注意する。（レット、ドリブル、ネットタッチ、ネットオーバー等）判定を覆さない。
6 再判定の結果は、両方のプレーヤーを審判台の前に呼び、正審が審判台の上から通告する(この際は必ず「タイム」とコールして行う。以後は、異議の申し立てとなる。
7 タイム場合、試合を再開する際「ノータイム」のコールを忘れずに行う。
8 チェンジサイズの都度、ライン際のきわどい痕跡を消す。
9 副審の移動は敏速に行う。（サービス終了後センターへ移動する時、及びサービスの判定の位置にもどるときの動作）
10 副審は、左右の挙げる手を間違わない。
11 遅延行為等には、積極的に「レッツプレイ」をかけ、スムーズな進行を促す。
・再度同一の事象が発生した場合は、イエローカードの対象となる。
・特にポイントとポイントの間に打合を行っている場合
・靴のひもを結び直す行為については注意の喚起を行う。
・ファーストサービスとセカンドサービスの間に、ペアの打ち合わせを行う場合は「注意の喚起」を行う。「連続的にプレーをしてください。次は警告を与えます。」
12 インのサインは、原則行わない。（観客が迷う場合は インのサインを行っても良い）
13 副審のコールは、動作に合わせて大きな声でしっかり行う。
≪レット、チップ、ネットタッチ、ネットオーバー、ツーバウンズ、ドリブル等≫ 一度出したサインはひっこめたら絶対だめ。
14 選手からのアピール（ドリブル、ネットタッチ、タッチ、チップ、ツーバウンズ等）によって判定を覆さない事。

15 アウト、フォールトのサインは、落下点に正対し、注目して３秒程度静止する。
16 審判ワッペンは、シャツの左胸に付ける。
17 審判にあたる際は、審判チームで意識を合わせるため必ず事前打合せを行う。
18 正審のポイントカウント及びゲームカウントのコールは、ゆっくり、大きな声で、正確に行う。
20 正審はポイントカウント及びゲームカウントのコールを間違えても、毅然とした態度でコレクションとコールし、正しいポイントカウント及びゲームカウントをコールする。
21 正審のコール前にサービスを行うプレーヤーがサービスを行った場合は、正審はイン・フォールトにかかわらず「レット」とコールしなければならない。
22 ボールの測定については、マッチを行うコートにおいて審判員が調整する。気温の変化等で空気バランスが悪いと選手からの申し出があった場合は、審判員が空気調整を行う。

## ●インプレー中の注意事項

1 スコアシートの正審・副審欄への名前の記入、開始・終了時間の記入、サイドを選択したペアに○印を忘れない。
2　インプレー中「正審」はボールを目で追うため、ネットプレーヤーが視界に入りにくいため、副審がネットプレーヤーのプレーを注意してみる必要がある。(チップ、ネットタッチ、ダリブル、タッチ等)
3　正審は、ベースライン上に落ちた際どいボールの痕跡位置を明確に記憶する必要がある。
4 アウトの判定コール及びサインを出すのは、瞬時に出す必要はなく、一呼吸(1秒程度)おいてからでよい。
5 イン・アウトの判定を覆すときは、落ち着いて
・「痕跡を確認したところ判定とは違っており、プレーに支障をきたしたと判断し「ノーカウント」として、このポイントをやり直してください」と伝える。「ノーカウント」とコールしてプレーを再開する。
・「痕跡を確認したところ判定とは違っていましたが、プレーに支障をきたしていないと判断したので、判定を訂正します」と伝える。
6 ドリブルについては、明らかにラケットに2度当たった場合に限定して判断し、疑わしきはドリブルとしない。インプレー後に相手選手から質問があった場合は「ドリブルはなかった」と正審から伝える。
7 ポイントカウント及びゲームカウント等のコールは、大きな声でゆっくりコールする。
数字は続けてコールしない。(ワンツー　⇒　ワン　ツー)
8　マッチが終了したら、ゲームセットとコールし、直ちに選手をネット際に集合させて、終了の挨拶をさせる。採点票は挨拶後に完成させる。

# チーム誘導イメージ(入場の場合) 〈第3案〉

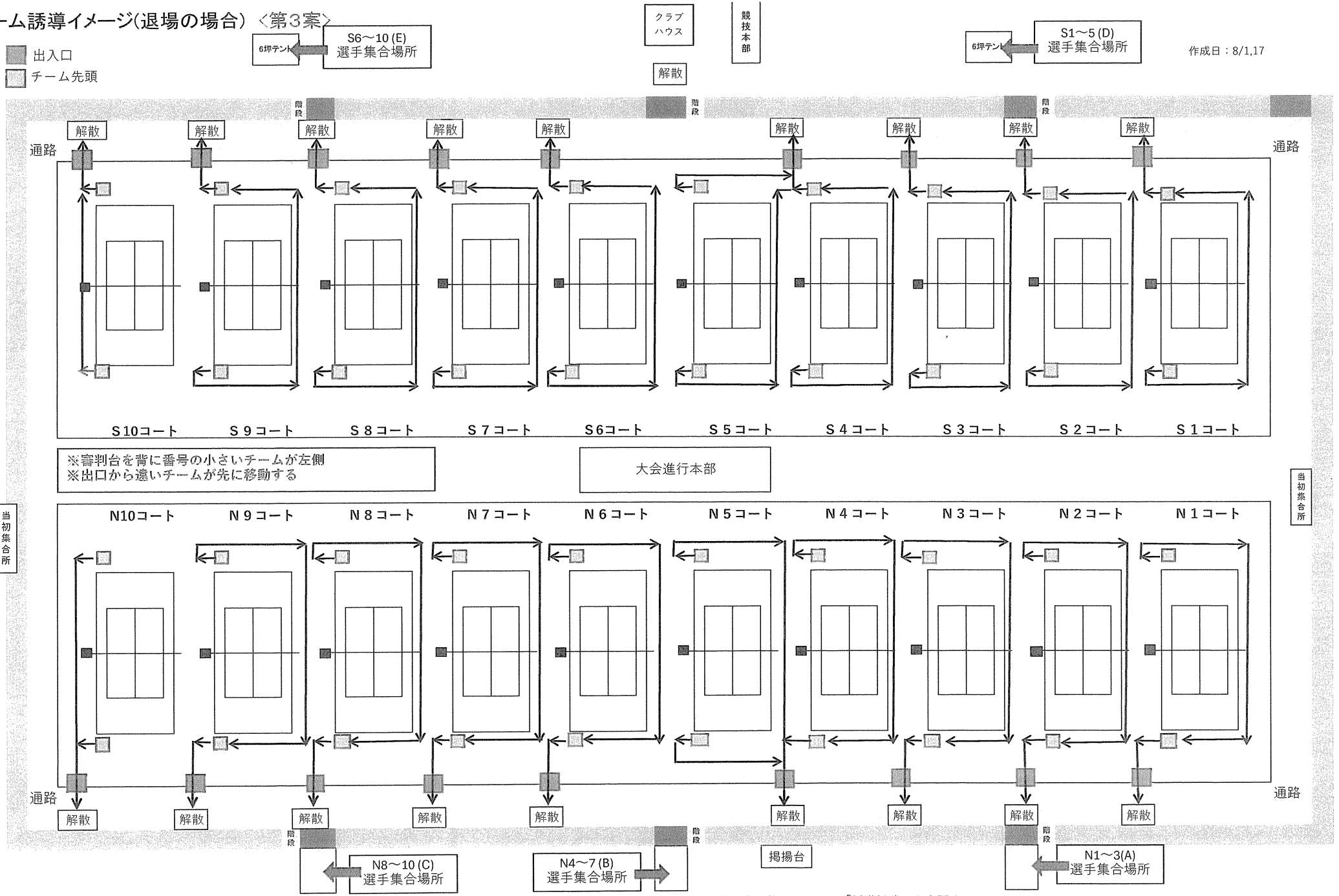



※1) 通常、審判台は午前中は「駐車場側」、午後は「アリーナ側」に設置している。

※2) 当日、対戦の際の審判台の位置によって「誘導経路」を変更する。

# チーム誘導イメージ(退場の場合) 〈第3案〉

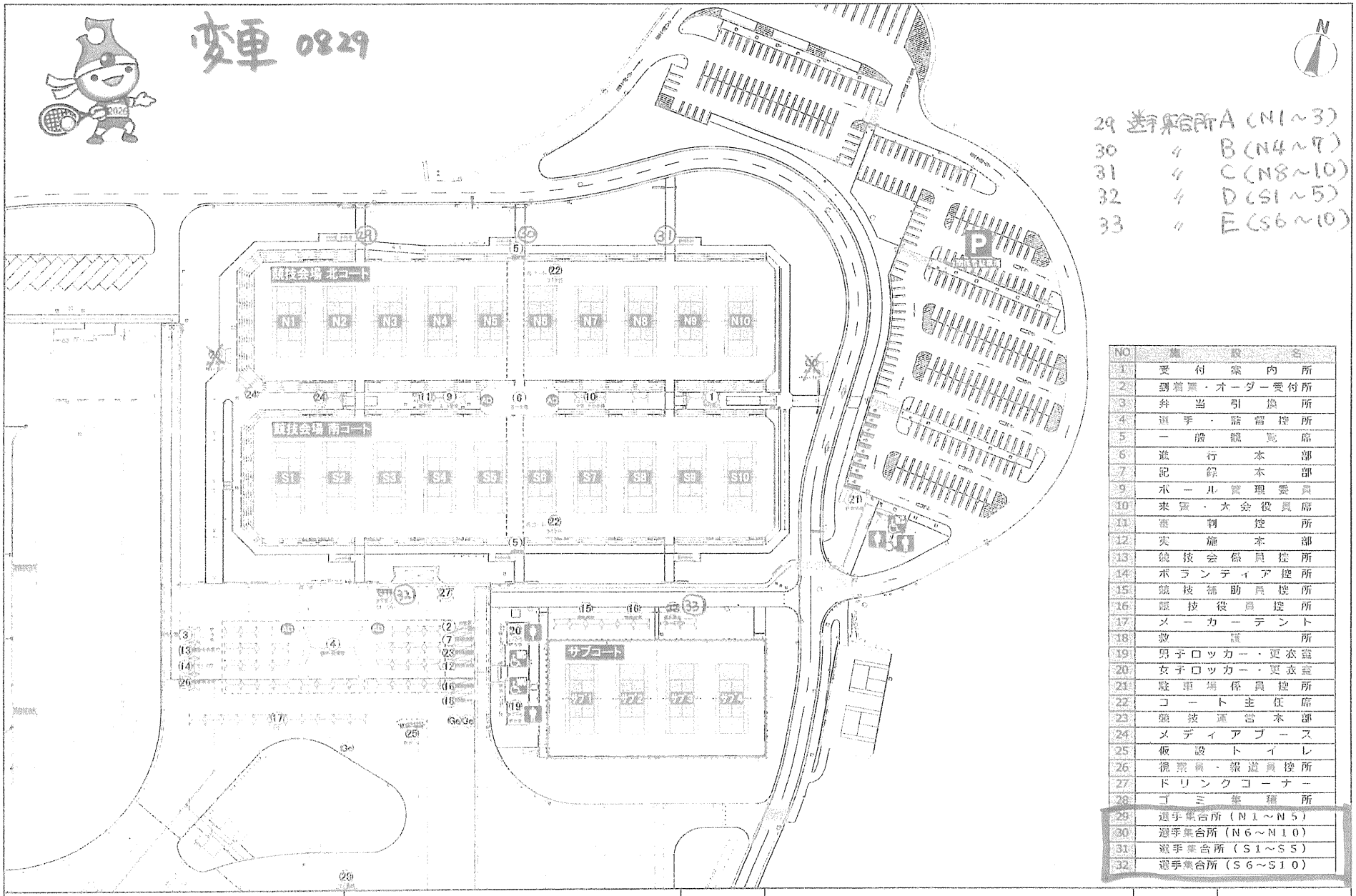
作成日：8/1,17




※1) 通常、審判台は午前中は「駐車場側」、午後は「アリーナ側」に設置している。

※2) 当日、対戦の際の審判台の位置によって「誘導経路」を変更する。

変更 0829



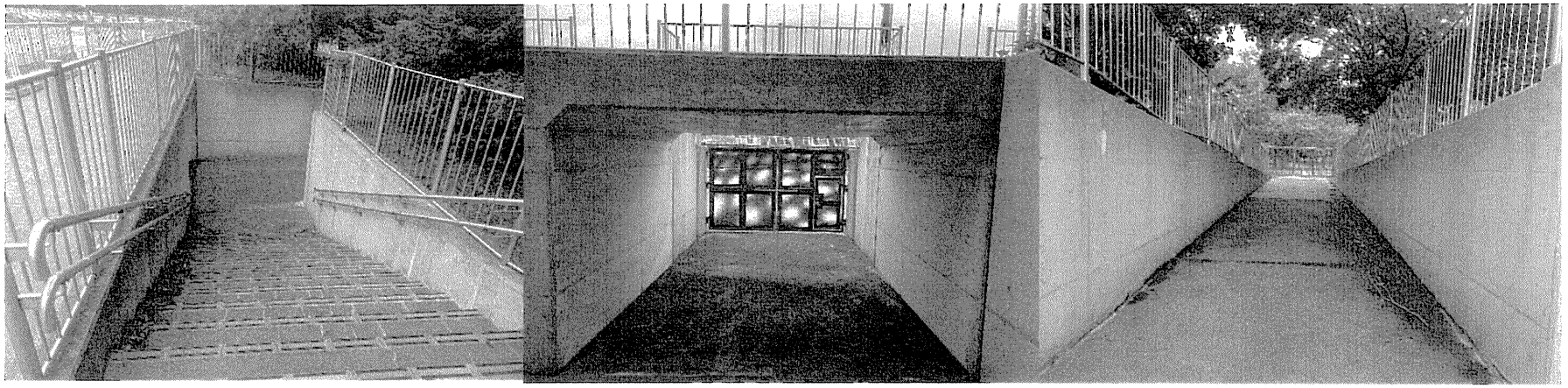

29 選手集合所 A (N1～3)
30 〃 B (N4～7)
31 〃 C (N8～10)
32 〃 D (S1～5)
33 〃 E (S6～10)

| NO | 施設名 |
|---|---|
| 1 | 受付案内所 |
| 2 | 到着票・オーダー受付所 |
| 3 | 弁当引換所 |
| 4 | 選手・監督控所 |
| 5 | 一般観覧席 |
| 6 | 進行本部 |
| 7 | 記録本部 |
| 9 | ボール管理委員 |
| 10 | 来賓・大会役員席 |
| 11 | 審判控所 |
| 12 | 実施本部 |
| 13 | 競技会係員控所 |
| 14 | ボランティア控所 |
| 15 | 競技補助員控所 |
| 16 | 競技役員控所 |
| 17 | メーカーテント |
| 18 | 救護所 |
| 19 | 男子ロッカー・更衣室 |
| 20 | 女子ロッカー・更衣室 |
| 21 | 駐車場係員控所 |
| 22 | コート主任席 |
| 23 | 競技運営本部 |
| 24 | メディアブース |
| 25 | 仮設トイレ |
| 26 | 視察員・報道員控所 |
| 27 | ドリンクコーナー |
| 28 | ゴミ集積所 |
| 29 | 選手集合所（N1～N5） |
| 30 | 選手集合所（N6～N10） |
| 31 | 選手集合所（S1～S5） |
| 32 | 選手集合所（S6～S10） |

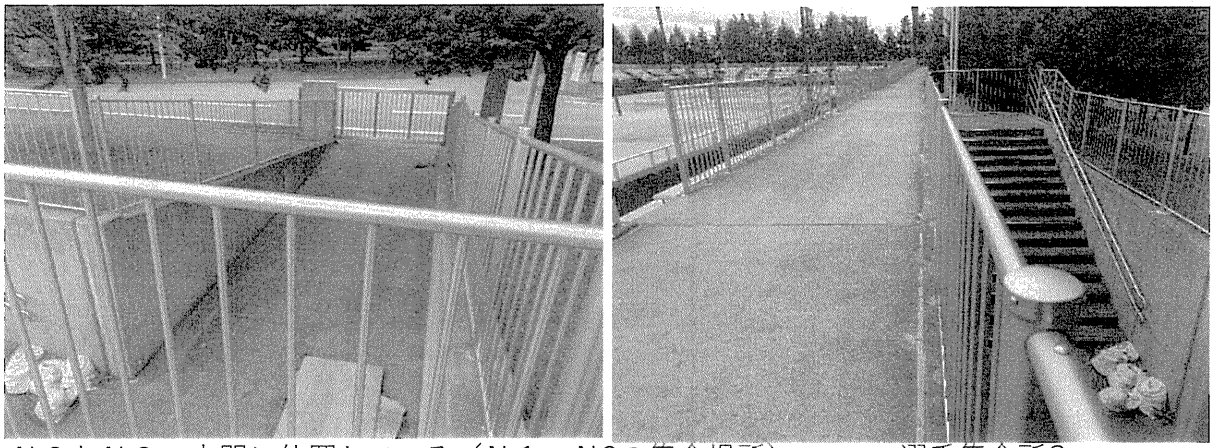
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会 | 青の煌めきあおもり国スポ 動かす未来へ、風立の風に乗って | 競技名 | 第80回国民スポーツ大会 ソフトテニス競技会 | 縮尺 | S=1/1200(A3) |
| | | 図面名 | 会場配置計画（新青森県総合運動公園_テニスコート） | 修正日 | |

# Ｎコート「監督・選手集合所」予定場所(３ケ所)

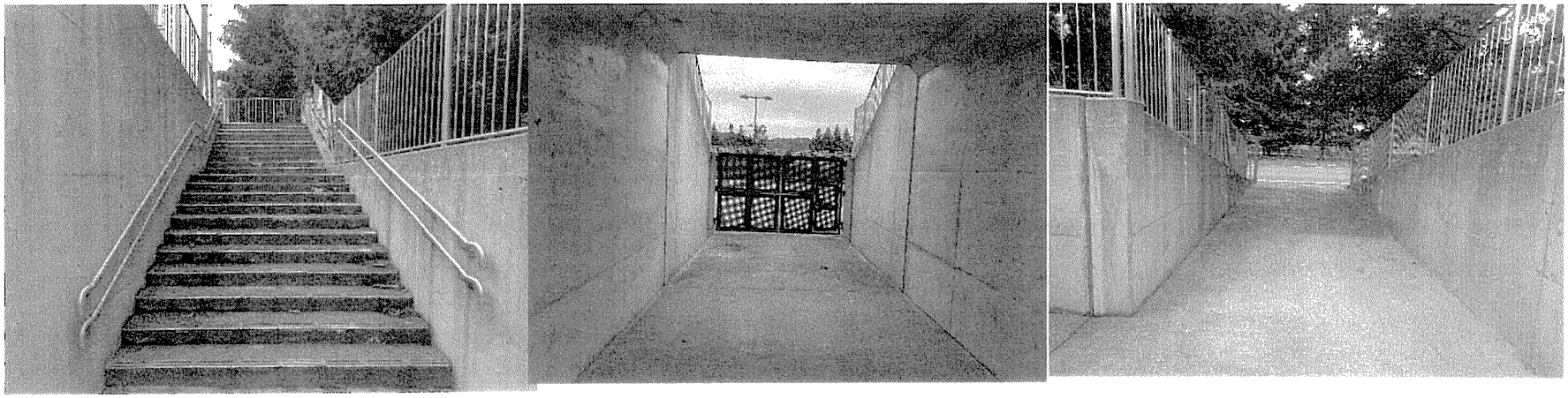
Ｎ８とＮ９の中間に位置している（Ｎ１～N3の集合場所）　　選手集合所A



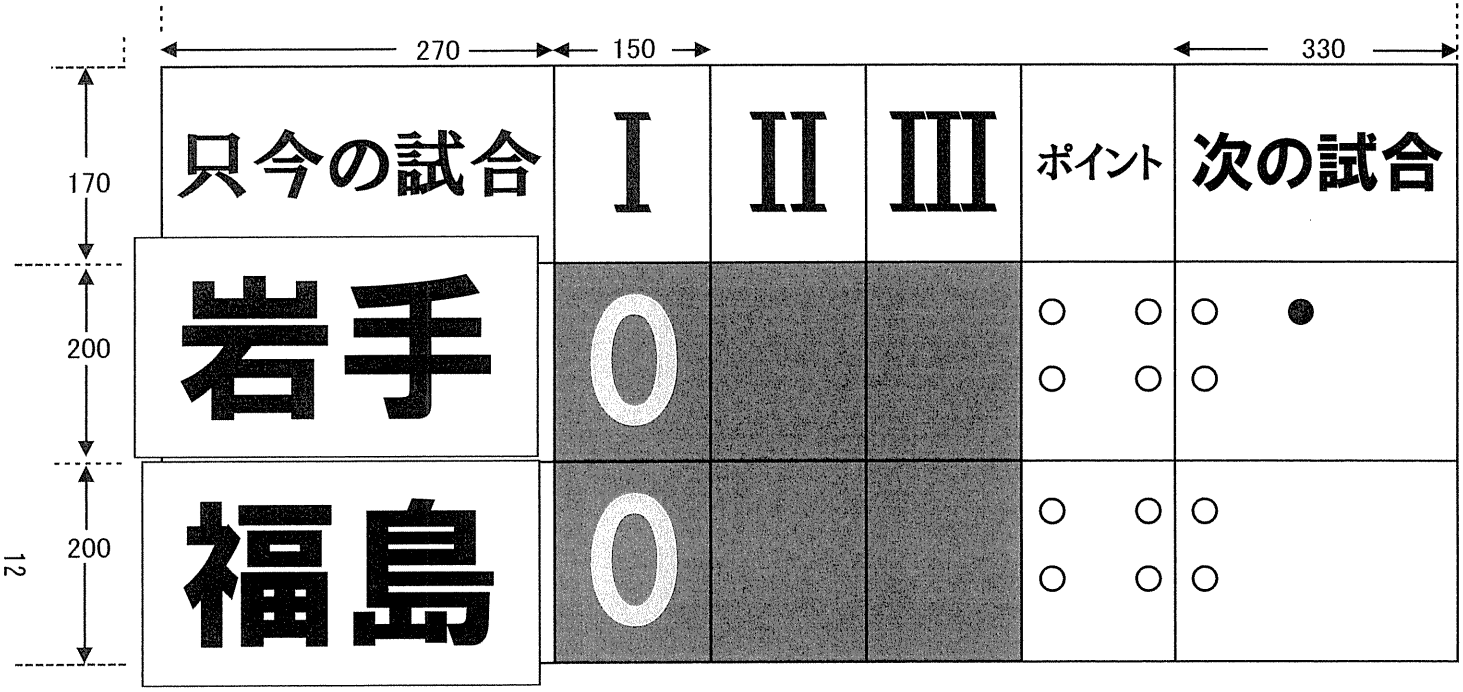
N5とＮ6の中間に位置している（N4～Ｎ7の集合場所）　　選手集合所B



Ｎ２とＮ３の中間に位置している（Ｎ１～N3の集合場所）　　選手集合所C

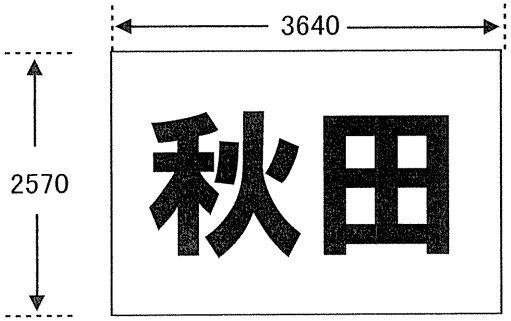


# 2026_あおもり国スポ「得点板」レイアウトと表示要領

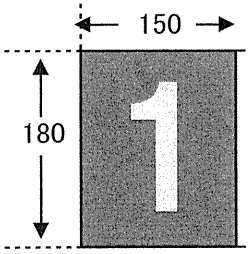



（表示方法）
① 最初は、0（ゼロ）表示しておく。
② ポイントは、得点左端から白マグネットで表示する。間隔をあけること。
③ ジュース・ジュースアゲンは、白3つ。ファイナルは、白6つ
④ アドバンテージとなった方に赤マグネットを1つつける。
⑤ ジュースアゲンとなったら、赤マグネットをはずし、白3つずつとする。ファイナルは、白6つずつとなる

（チーム名プレートの取り扱い）
① 副審がB4横のチーム名プレートを試合前に補助員に手渡し、得点板にマグネットバー(白)で貼り付ける。番号の小さいチームを上段とする。
② チーム名プレートはB4横版のため、得点板からはみ出してしまうため、しっかり固定する。
③ 対戦終了後、各県名プレートは、副審が回収し進行本部に持ち帰る。




B4判　ラミネート使用で作成
マグネットバー(白・横)で貼り付ける




デジタル表示用マグシート
得点板に貼り付ける

● 赤色マグネット画鋲（1個）

○ 白色マグネット画鋲（12個）

# 審　判　員　指　摘　事　項　票

| 種目 | □成年男子　□成年女子　□少年男子　□少年女子 | | | コート |
|---|---|---|---|---|
| 対戦 | 回戦 | No. | 対 | |
| | | チ　ー　ム名 | | |
| 審判 | 正審： | 副審： | コート主任： | |

| | |
|---|---|
| 【正審】 | |
| マッチ開始前、終了時の審判員の立つ位置やあいさつが不適切。 | |
| 「集合」の合図とコールがない。 | |
| プレーボールの前に、サイドおよび選手の紹介がない。 | |
| 第１サービスがネットにかかり入らなかったときに、「フォールト」のコールがない。 | |
| フットフォールトが取れない。 | |
| ポイントカウント等をコールするタイミングが悪い。 | |
| 副審のサイン（判定区分の尊重）を見てコールしてない。 | |
| チェンジサイズ時の時間のチェックができてない。 | |
| 「レッツプレー」のコール（副審への指示指示を含む）ができない。 | |
| ボールの落下点をよく見極めないでコールしている。 | |
| その他の判定において、該当するプレーヤーを指してのコールがない。 | |
| イエローカードをタイミングよく出せない。 | |
| 「タイム」、「ノータイム」のコールができない。 | |
| 得点板の表示に注意を払ってない | |
| 得点票を見ながら下を向いてコールしている。 | |
| 審判姿勢が悪い。 | |
| 質問に対する対応が拙い。 | |
| 正しい審判用語が使えない。 | |
| 声が小さくて明確なコールができない。 | |
| 採点票（開始終了時間・サイド・警告・タイム・スコア・勝者サイン等）に不備がある。 | |
| 【副審】 | |
| マッチ開始前、終了時の審判員の立つ位置やあいさつが不適切。 | |
| レディ前の待機位置が不適切。 | |
| サービス判定時の姿勢が悪い。 | |
| サービス判定時の位置（クロス・逆クロスの場合の立つ位置）が不適切。 | |
| サービス時にサーバーを見ていて、レシーバーの「インターフェア」が取れない。 | |
| レットの場合に直立してサインとともにコールができない。 | |
| 第１サービスがネットにかかって入らなかったときにフォールトのサインをする。 | |
| サービス判定時にインのボールにサインしている。 | |
| 移動時の駆け足ができない。 | |
| ボールの落下点をよく見極めないで判定している。 | |
| その他の判定において、該当するプレーヤーを指してのコールがない。 | |
| 判定のタイミングが悪い。 | |
| 区画線による判定区分が分かってない。 | |
| 待機中、ラリーの姿勢が悪い。（後ろの手を組む・よそ見等） | |
| 正確なサインやコールができない。（サインの手が反対・レットやタイムのコールとサイン等） | |
| 正しい審判用語が使えない。 | |
| 声が小さくて明確なコールができない。 | |
| 質問に対する対応が拙い。 | |
| 得点板の表示に注意を払ってない | |
| 【備考】 | |
| | |